



### 野國道筋より吉川橋迄

## 十萬圓で三崎組が落札

#### 未着工の鮫川疏水工事

本縣並に鮫川水利組合より上旬渡瀨し後瀨支模様で組合の議員でも選日本水素工業が通水に至る各地に視察と皇軍慰問の旅果となれば町民の興味を惹き工事を一切を引受け着々をつづけてゐる。平市會副工務課長に精進中の處末着議長、縣議選瀨龍輔氏より手の分渡邊村野國道筋より本龍宛の給ハガキ便りがり小名濱の吉川橋迄の上つた事十萬圓にて三崎組太田勝康氏と請負契約成立し既に工事に着手したが期限は來二月一杯完成の豫定である。

### 北京にて

#### 選瀨縣議より音信

全國都市水道會議に平市代表として出席する爲め先月十月三十一日 北京にて

### 鮫川堰普通水利組合 改選議員話題の顔觸

#### 小名濱町の巻

來る十一月十五日改選する長金上の五名は小野晋平、鮫川堰普通水利組合議員氏を離して全部退選する候選は二町四ヶ村に及び、候で候補者として最も有二十四名の議員を選出する方視されてゐるのは小野晋平、小名濱町は五名を連記半、草野良太郎、小野定太郎、高木村における應召家族の手助下級生も、トイナゴを採は如何にと探りを入れて見保、松本徳次郎（松本房之助）の諸氏等が選出される。

#### 溺死せんとして附近民に救助された、神無痛を苦にしだ出かけた

本市草野某（一五）は十月廿九日午後十時頃雙葉郡浪江町青年學校々舎附近で七首を懐中し徘徊し生徒に喧嘩を吹つかけたところを浪江署員に

### 住宅設計募集

本市草野某（一五）は十月廿九日午後十時頃雙葉郡浪江町青年學校々舎附近で七首を懐中し徘徊し生徒に喧嘩を吹つかけたところを浪江署員に

#### 勿來驛改築 勿來驛の改築工事は事變關係で或は無期延期のやむなきに至る學校に十一月二十日開演するなし贈られた謝禮金二十圓ものと憂慮されてゐたが今が今が平市外濱三郡の全職職員を平市事後援會へ寄附

### 青年團本部の計畫

#### 藤村工場長の時局講演

小名濱青年團長西直三郎隨處にありや題下で講演氏は近く幹部會を召集してを依頼し團長自ら先般視青年團臨時總會を開催すべからし満州談を試みる豫定く計畫中であるが同計畫は、尙ほ就緒の完壁の時局認識を深める爲めに藤村工場長を特別に計畫してゐる

### いなごを獲つて獻金

#### 磐女一、二年生五百名出動

仙臺通信局にては十三年度に小名濱町へ無集配局設置の發表があつたが、場所は本町を選ぶ模様である

### 馬目伍長 遺骨凱旋

戦病死をこけた平市三町日出身伍長馬目英三郎君の遺骨は來る十月廿六日午後六時三十分平市駅で凱旋した

### 小名濱町に

無集配局設置 仙臺通信局にては十三年度に小名濱町へ無集配局設置の發表があつたが、場所は本町を選ぶ模様である

### 平市並に濱三郡 縣東部聯合教育會

同時に濱三郡代議員會も

#### 石島一徳齋翁

平市内の最高齢者白銀町、石島一徳齋翁は八十九歳の高齡で十月廿四日二十分自宅で永眠した

### 大教正石島一徳齋儀八十九歳の高齡を以つて本日午後四時二十分死去

去任候生前の御厚誼を感謝し此段謹告仕候

追而十三日午後一時出棺平市營火葬場に於て神式に依り葬儀相替可申候昭和十三年十一月十日

友人總代男爵	野藤小代馬石馬石	崎原野田目島鳥	滿雅義有平	藏脩皇光治教雄長
親戚總代	男 男	男 男	男 男	男 男

#### 自動車取締令違反 田人

村大字黒田字一ノ倉相澤作八氏、自動車運轉手澤田村（二）は去月十九日無免許で植田までトラックを運んだ事發覺、十一日平區から取締令違反で略式罰金十五圓に處された

### 石島一徳齋翁

平市内の最高齢者白銀町、石島一徳齋翁は八十九歳の高齡で十月廿四日二十分自宅で永眠した

翁は嘉永三年十二月茨城縣新次郎安衛に生れ幼名長衛、後徳長と改め古稀に及んで一徳齋と改め記念に歌集、常盤の松、尚翁は多数の貸家を有し學を編んだ、幼時快風館に入り水戸學を修め傍ら武はれてゐた、因に葬儀は十道を練り十三才の時江戸三月廿日午後一時から同市營火葬場に於て神式により告別學んだ、明治維新後陰陽式を執行する

### 大教正石島一徳齋儀八十九歳の高齡を以つて本日午後四時二十分死去

去任候生前の御厚誼を感謝し此段謹告仕候

追而十三日午後一時出棺平市營火葬場に於て神式に依り葬儀相替可申候昭和十三年十一月十日

友人總代男爵	野藤小代馬石馬石	崎原野田目島鳥	滿雅義有平	藏脩皇光治教雄長
親戚總代	男 男	男 男	男 男	男 男



巷の聲

何故長期戦になるか  
 題下で藤村工場長の  
 濫密を吐明する機会を  
 作りたい

支那は支那の帝國主義にあ  
 きたらず孫文當時救國の大  
 旗を振かざし所謂孫文の三  
 民主義とは民族(民族平  
 等の要求を主張)民権(政  
 治上に於けるデモクラシー  
 の主張)民生(無産階級の  
 經濟的解放を含む國民生活  
 問題乃至社會問題の根本的  
 解決に對する主張)の根  
 強く植付けられた思想が有  
 形無形の支那魂となり今  
 事變でも追討られて地方政  
 權化した今日までに長期抗  
 戦を口にして挑戦してゐる  
 この支那國民政權下にあつ  
 た、民族と誘接導するに  
 は、やはり思想を根幹とし  
 た方で鎮撫しなくてはな  
 らない、戦争に次ぐ思想戦  
 に長期は覺悟の前である而  
 して我理想たる東亞の全体  
 主義を理想として進まけれ  
 ばならない

日本水素藤村工場長は何  
 故長期戦になるか、に就て  
 研究した濫密を本町青年を  
 中心とした會合を作り獨演  
 會を開きたいと望んでゐる  
 以上述べた事は藤村氏の談  
 話を片耳に狭んで書いたの  
 だがトチンカンな履違し  
 てゐるかも知れず無論文書  
 は記者にある

植田町  
 森合齒科  
 電話七二番

壽しは  
 江戶前小料理  
 銘酒は生一本  
 平本店  
 銀座通り電六七九  
 小名濱支店  
 中島通り電四七

齒科一般  
 口腔外科  
 村上齒科醫院  
 齒學得業士 村上 上 豊  
 小名濱小學校正門前

産院の設備も充實致しました  
 電話も開設致しました  
 何卒御利用下さい  
 産婆 近藤かぬ  
 小名濱町後宿 電話三三三番

性病科  
 産婦人科  
 午前宅診  
 午後往診  
 入院隨意  
 井坂醫院  
 平市田町  
 (電話五五九)

日曹合成塩酸  
 日曹曹送灰 販賣  
 日曹自動三輪車  
 其他化學藥品類  
 魚鱗製造 日本曹達株式會社  
 江名工場

内臓外科 血液検査  
 レントゲン科 毎日  
 北川外科  
 平市新川町二七  
 醫學博士 北川 芳夫  
 電話四六四番

吳服類はぜひ……！  
 樋口吳服店  
 小名濱町中島通り

久保田醫院  
 小名濱町  
 電話二二番

値段の—安  
 服型の—新し  
 仕立の—良  
 小松洋服店  
 平市礎才小路十二  
 皇恩會  
 小松 正 治

耳鼻咽喉科  
 大和田醫院  
 平市南町(電話一七〇番)

平病院  
 (平市元共濟病院跡)  
 電話六四一(番)  
 院長 醫學博士 鈴木定藏  
 小兒科 院長 鈴木定藏  
 內臓外科 副院長 高橋 俊幸  
 皮膚泌尿器科  
 レントゲン科 部長 鈴木定藏  
 物理的療法科 部長 鈴木定藏  
 藥劑科 部長 吉本孝平  
 診療時間(毎日午前八時より午後九時迄(夜間診療に  
 時間)從事す(急患は此の限りにあらず))